

クラス番号	642	担当教員名	斉藤 雅茂
テーマ	高齢者の保健・医療・福祉ニーズと社会福祉調査		
著書・論文	『実践を変えるための社会福祉調査（春秋社、2013、印刷中）』 「高齢者の生活に満足した社会的孤立と健康寿命喪失との関連；AGESプロジェクト4年間コホート研究より」 『老年社会科学』35(3):印刷中。 「高齢期の社会的孤立に関連する諸問題と今後の課題」『老年社会科学』35(1): 60-66. (2013). 「Social exclusion and mortality among older Japanese: AGES cohort study」 <i>Social Science and Medicine</i> , 75(5): 940-945. (2012)		
研究課題等	「高齢者の社会的孤立に関する主要な知見と今後の課題」『季刊家計経済研究』94: 55-61. (2012). 「同居者のいる住民基本台帳上の一人世帯高齢者の特性」『老年社会科学』33(4): 527-537. (2012). 『ソーシャル・ビジネスで解く社会的孤立；重層的予防策とソーシャルビジネスへの展望（ミネルヴァ書房、2012）』 「介護保険料段階による在宅介護サービス費用の経年変化」『季刊社会保障研究』47(3): 293-303. (2011).		

ゼミナール概要

キーワード：高齢者福祉，社会調査，データ解析，実証研究，社会学，地域ケア・施設ケア，介護保険制度，地域福祉，地域診断，ニーズ，貧困・社会的排除，公衆衛生学，社会老年学

目的、内容、方法等：

本演習では、主に高齢者を中心としながら、個別援助の方法論だけでなく、福祉社会の問題として、各種の政策動向や既存の調査データ等を共有しながら、皆さんの関心を深めていきます。卒業論文のテーマは、キーワードに記載したものを含め、高齢者の保健・医療・福祉ニーズに関するものであれば何でも構いません。また、何らかのデータ解析したいという方には個別にサポートします。個々の状況は異なりますが、最終的に全員が「学士号」として恥ずかしくない水準の卒業論文になるよう指導します。

本演習では、一部パソコンを使った演習も行いますが、基本的には関連文献や資料について輪読を重ねて、各自の関心テーマの焦点化を図ります。また、卒業論文に関連したレポートを年に数回は提出してもらい、すべて添削および反省会を行います（書く力・伝える力の習得）。例年、春休みには卒業研究の中間報告会を行っています。フィールド・ワークについてはメンバーの希望を踏まえて検討します。

授業計画：

- － 3年前期には、上記テーマに関連した専門書を輪読し、「読む力」「伝える力」「聞く力」の向上を目指します。その後、論文・資料の探し方を演習し、各自の関心に即した論文を集めて輪読をし、レポートおよび卒業研究計画書にまとめていきます。その際に、レジュメの作り方やプレゼンテーションの仕方についてもお互いに評価して、スキルアップにつなげます。
- － 3年後期には、卒業論文で取り組む課題を焦点化し、各自、研究計画書を作成することで、資料や根拠に基づいた文章の書き方（書く力）の習得を図ります。そのために、各自の関心に即した論文レビューをしていきます。また、この時期は実習とも重なるため、参加メンバーの希望に合わせて適宜プログラムは調整します（2014年度はエクセル演習・白書読解・計画書の添削を実施）。
- － 4年次には卒業論文の執筆に取り組みます。ゼミでは、進捗状況を中心に報告・ピアレビューを重ねて、お互いに課題を確認していきます。とくに国家試験を控えている人には、夏休みまでに卒業論文の完成を目指して指導しています（あとは個々の努力次第・・・）。4年後期の運営は、ゼミメンバーの希望にできる限り応じていきたいと思います（2014年度はPC演習・マナー講座・コミュニケーションゲームなどを実施）。

担当教員からのメッセージ



皆さんの関心事を深める場であり、皆さんが安心して議論できる場にしたいと思っています。ゼミを通じて、自ら探求して何かを発見すること、他者と議論することの楽しさを味わってもらえたら嬉しいです。多少不器用でも努力することをいとわない方や誠実な方は大歓迎です。他方で、他人がやってくれるのを待ちたい人や「いかに楽して単位を取得するか」が最優先課題の人にはお勧めしません。4年間の集大成として、与えられた課題をこなすだけでなく、ぜひ様々なことにチャレンジし、一緒に実りの多いゼミにしていきたいと思います。